

■臨時交付金を活用した給食費の無償化（北河内）

	小学校	中学校	無償化の期間
守口市	あり	無し	令和2年6月から12月末まで、 令和4年7月から令和5年3月まで
枚方市	あり	あり	令和2年11月1日～11月16日の10日間のみ
寝屋川市	あり	あり	令和2年6月から12月末まで、 令和4年8月から令和5年3月まで
大東市	あり	あり	令和2年度1学期分
門真市	無し	無し	
四條畷市	あり	あり	令和4年3学期分（市立小中学生が2人以上いる世帯の第2子以降対象）
交野市	無し	無し	



国は、物価高騰等への対応として、コロナ臨時交付金を拡充し、自治体に給食費の保護者負担の軽減等を推奨しています。

文部科学省の調査では、全国の自治体の83.2%が、保護者負担の軽減を「実施している」「予定している」と回答しています。

■自治体の学校給食費の保護者負担軽減の取り組み状況

実施している	679 (37.9%)
実施を予定している	812 (45.3%)
計	1,491 (83.2%)
実施を予定していない	302 (16.8%)

令和4年7月29日時点 文部科学省調べ

北尾まなぶ議員が一般質問

補聴器購入への助成制度を！

市長「令和5年度頃の助成開始をめざす」



【質問】市長は所信表明で、「加齢性難聴者の補聴器購入を補助する事業をスタートしたい」と述べられたが、必要性をどう考えて、何時ごろから始めるのか。

【答】難聴が進むと、車等が近づいても気づかない、クラクションが聞こえないなど、危険を察知することが遅れたり、コミュニケーションが図りづらくなり、認知症やフレイルの進行に繋がることも懸念される。聴力低下へ早期に対応することは、高齢者の生活の質を維持し、社会参加を促進するために、重要であると考える。

令和5年度頃の助成制度の開始を目指し、予算計上時

に改めて議会の承認をお願いしたい。

【質問】助成の内容はどのようなものになるのか、現時点で考えられる内容を聞く。

【答】先行市の事例を参考に、医師の診断を経て、補聴器の必要性を認められた高齢者に対し、対象者や上限額を考慮した上、購入費用の一部を助成することが考えられる。

【質問】補聴器等を使用されている方の「聞こえ」を支援し、マイクを通じた音声を直接補聴器に伝えることができ、講演や会議の場で、講師

や発言者の声をクリアに聞くことができる「ヒアリングループ」について、公共施設への設置の検討状況はどうか。

【答】誰もが同じ情報を取得し、円滑な意思疎通を図っていく事は、重要であると認識している。設備等に関し財源や優先度を踏まえ検討したい。

【要望】高齢の方から、会話が聞こえにくく人のいるところに行きにくいなどの声を聞く。高齢者の社会参加を応援する取り組みを進めて頂きたい。